

平成28年度 of 取組の概要

学 校 名	大河原町立大河原中学校	主な取組教科	5教科	
研 究 主 題	自ら学び，確かな学力を身に付ける生徒の育成 —家庭学習とのサイクル形成を図る授業づくりを通して—		研究年次	3 / 3年次

1 本年度の主な学力向上の取組と成果

学力向上の取組	成 果	評価の根拠
授業のねらいを明確にし，見通しと振り返りを持たせるための授業改善	各種調査において，ねらいが提示されている，振り返りを行っている，の項目で80～90%の生徒が肯定的な意見であった。	教科部会の充実により，授業のルールの確認，統一が進んだ。また，研究だよりの発行により，職員間での情報の共有に努めた。
授業とのサイクル形成を図る家庭学習の内容の提示	特に予習型の宿題では，次の授業の見通しがつき理解度が上がったと感じる生徒が増加した。	学習意識調査において，宿題が授業の役に立つと考える生徒の割合が約80%まで増加した。
iPad，Windows タブレット PC，液晶プロジェクタ等のICT機器を活用した授業実践	授業の段階に応じて用い，説明の時間短縮や，動画による説明が手軽にできるようになった。	教員が授業の様々な場面で取り入れようとし，生徒も授業での集中力が増してきた。
週間課題，帰りの会学習，朝学習テスト（数学オリンピック）の継続実施	学習を継続して行う習慣を身に付けることと，基礎的，基本的な内容の定着が見られた。	学習意識調査において，力がついてきたと考える生徒の割合が約80%まで増加した。

2 残された課題と今後の方向性

課題	改善の方向性
標準学力調査等における平均正答率が県平均，全国平均に差があること	苦手とする領域を中心に，基礎的な内容は引き続き週間課題等で補う。だいぶ改善されたが，難易度が上がると諦めてしまう傾向があるので，授業の中でも類題を取り上げ，挑戦させていきたい。
家庭学習の時間に対して，携帯・スマホ，ゲーム使用の時間が長い傾向にあること	家庭学習の時間は徐々に増加しているが，携帯・スマホ，ゲーム使用の時間は依然として長い傾向にある。大河原町では「携帯・スマホ9時ルール」があるので，徹底させていきたい。